

## 1. 栄養の科学と技術の振興事業

食と栄養の科学および実用技術を振興させる事業であり、第41回福岡県栄養改善学会を開催し、栄養指導・食事療法・栄養管理に関する調査研究および業務の成果や新しい試み（実践）など12演題が発表された。特別講演は、今後我が国の大きな課題となるCKD対策について「CKDガイドライン2014と今後の治療戦略～栄養管理を中心に～」について、福岡赤十字病院腎臓内科血液浄化療法内科部長 満生 浩司先生に講演いただき、特に高齢化の進展や糖尿病等有病者数の増加を踏まえ、栄養管理の意義や栄養指導の有用性について講義をしていただいた。400名余りの参加者が管理栄養士・栄養士の業務の基本を学んだ。

### ・第41回福岡県栄養改善学会

栄養指導・食事療法（栄養管理）に関する調査研究および業務上で成果があった事例や施設における新しい試み（実践）など、（12演題）管理栄養士・栄養士からの研究発表が行われ、また、「CKDガイドライン2014と今後の治療戦略～栄養管理を中心に～」と題して、福岡赤十字病院腎臓内科血液浄化療法内科部長 満生 浩司先生にご講演していただいた。開催日：10月25日（日）

## 2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成

県民が、質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的技能とともに、一人ひとりのかけがえのない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、卒後教育制度として実施される諸種の研修事業であり、基幹研修事業と拡充研修事業とからなる。

今年度からはこれまでの生涯学習から生涯教育へとシステムが変更された。キャリア支援の一環として認定制度を取り入れた新しい生涯教育を行った。これまでの基幹研修はミニマムスタンダードとなる基本研修、拡充研修は職域を中心とした専門知識を深める実務研修として再構築した。

これらの事業は、何れも県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の目的を達成するための手段と位置づけられている。

平成27年度の主な研修事業は次の通りである。

### （1） 基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とする。

#### ・生涯教育研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「栄養管理技術」「栄養指導」や「日本人の食事摂取基準」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基幹研修の中軸をなす研修会である。初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場でもある。

平成27年度内容は

- ①「福岡県栄養士会の生涯教育と認定制度について」
- ②「保健機能食品と栄養成分表示制度」
- ③「栄養関連法規、ライフステージと栄養関連法規その他」

- ④「栄養指導時に必要な献立と調理」
- ⑤「栄養管理のモニタリング・再評価」
- ⑥「栄養管理のモニタリング・再評価、栄養管理記録」
- ⑦「栄養素の消化と吸収（代謝）」
- ⑧「栄養クリーニング、栄養アセスメント・栄養診断、栄養診断にもとづいた管理計画」
- ⑨「個人を対象とした栄養指導」
- ⑩「演習 個人を対象とした栄養指導」
- ⑪「集団を対象とした栄養指導」
- ⑫「対象者の把握、栄養食事基準、食品構成」
- ⑬「高齢化社会とオーラルフレイル・リハビリテーション栄養」
- ⑭「運動が及ぼす多面的効果スポーツ栄養の最先端」
- ⑮「栄養ひとつでこんなに変わる栄養士が行うリハビリ栄養」
- ⑯「統計の基礎 ～データの処理と解析～データを使った実習」等である。

この研修会は県内の3地区（福岡、北九州、筑後）で7回開催する。

#### ・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基本研修として県内の3地区（北九州、筑後、筑後）において4回開催する。

研修内容は

- ⑰「地域包括ケアにおける管理栄養士の役割」
- ⑱「がん予防」
- ⑲「栄養管理の実施・モニタリング・評価」
- ⑳「糖尿病性腎症の基礎」などである。

#### （２）拡充研修事業(実務研修)（特定職域その他の研修事業）

拡充研修は、基幹研修を補完し発展させるものである。医療・福祉・公衆衛生・研究教育・学校健康教育・地域活動の7職種の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催する事業である。

今年度の職域ごとの研修会は以下の通りである。

##### ・医療事業部研修会

- ⑳「栄養ケア・プロセス ステージ別がん治療と栄養管理」筑後
- ㉑「医療安全管理」
- ㉒「栄養アセスメント 栄養管理・栄養」
- ㉓「腎疾患 栄養指導」北九州
- ㉔「病態栄養 栄養素の代謝と病態」

##### ・学校健康教育事業部研修会

- ㉕「食育のための行動科学 集団栄養指導」

##### ・公衆衛生事業部研修会

- ㉖「地域連携」

##### ・福祉事業部研修会

- ㉗「褥瘡」

##### ・研究教育事業部研修会

⑳「知識と実践の架け橋」

- ・地域活動事業部研修会：（今年度は他事業部との共通研修とする為、開催せず。）
- ・勤労者支援研修会：（今年度は、他事業部との共通研修とする為、開催せず。）

**（３）研修に関わる付随事業**

・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行

平成 25 年 1 月に改訂した「病院等栄養管理の基本と実際」の研修会での活用、管理栄養士・栄養士への頒布・販売をこれまでどおり実施した。

・研修会案内（広報部）

当会が計画する研修会情報を「栄養ふくおか」として年 4 回、案内葉書として年 1 回を作成・送付し、会員や県民の研修機会拡大を図った。

・日本栄養士会 会員WEBサービスの運用（広報部）

日本栄養士会が運営する会員WEBサービスシステムを利用し、会員や県民に研修会情報を提供した。

**3. 健全な食生活のための県民の自律の支援（県民支援部）**

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める目的で事業を行った。

また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業を行った。

平成 27 年度の事業は以下の通りである。

**（１）栄養ケア・ステーション事業**

栄養ケア・ステーションは、市町村や医療機関（診療所）、社会福祉施設等に栄養に関する業務について協力する事業であり、地域住民の健康維持・増進及び疾病予防・治療に寄与することを目的とするものである。27 年度の主な実施内容は、以下の通りである。

- ①高齢者食生活改善事業（北九州市）
- ②食生活改善推進委員における訪問事業（北九州市）
- ③食生活改善推進事業（志免町）
- ④きたきゅう健康づくり応援店アドバイザー（北九州市）
- ⑤食生活改善推進委員養成講習会（筑紫野市）
- ⑥妊婦教室（北九州市）
- ⑦介護予防講座（筑紫野市）
- ⑧栄養士会クッキングセミナー（西部ガス）
- ⑨酪農体験ちびっこファームステイ（福岡県酪農業協同組合）
- ⑩調理補助養成講座（福岡県シルバー人材センター連合会）
- ⑪介護講座講師派遣（福岡県社会福祉協議会）

**（２）平成 27 年糸島市在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修事業（糸島市委託事業）**

糸島市からの委託により、高齢者保健福祉介護保険事業計画に基づき行う事業を支援する担い手となる在宅医療・介護連携コーディネーターを育成し在宅医療等に係る事業に従事することを希望するものに対し様々な知識や技能を習得するための研修会を 5 回実施し、関係団体（理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会）の連携を含め、資質の向上をはかった。3 月末に最終日に行ったアンケート結果を含め糸島市に報告した。

### (3) 地域包括ケア会議推進支援事業

市町村が構築する地域包括ケアシステムを支援するため、市町村が開催される地域ケア会議にアドバイザーを派遣した。また、地域ケア会議模擬ケア会議にも参加した。

### (4) イベントにおける栄養相談事業

県民が多く集まる機会（イベント）において栄養相談・食事指導を行い、県民の食の自律を図るものであり対象は県民一般である。

#### ・健康 21 世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を目ざし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催した。北九州支部担当で、12月6日（日）イオンモール八幡東にて実施。

栄養相談、食事バランスチェック (SAT システムを利用した食事チェックを行った) 来場者 890 名

#### ・地域健康フェア

市町村・医師会・薬剤師会・自治会・地域諸団体と連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、実施した。

#### ・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指して毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後、筑豊の4地区で開催した。

#### ・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として開催した。

### (5) 市民公開講座（セミナー）

県民の健全な食生活を自立的に営む力を育むために、栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が知識や知恵、実用技術の普及を行う事業である。

#### ・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行なった。本年度は参加者の増加がみられた。時節を捉えたテーマの選び方や、講師の入れ替わりなどを積極的に図り、常に新鮮な内容になるべく努力していきたい。

#### ・健康セミナー

本会および看護協会、放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を毎年行っていたが、本年は諸事情にて中止となった。

また、「食と健康推進フォーラム」は、県民が自主的に取り組むことができる健康づくりを支援し、県民の健康に寄与することを目的に2月2日に開催され、参加者385人と「食と健康」についての県民の意識の高さがうかがえた。

#### ・県民料理教室

本年度の新規事業で、県民に対して、「高齢者の健康に関する料理教室」という位置付けで、

地域活動事業部が主体で企画運営をした。県民に周知不十分で栄養士会々員の参加のほうが多かった。2地区7会場で開催したが、後期日程になるにつれ県民の参加も若干増えてきたのは、次年度に向けて希望ももてる。費用対効果も含め、継続・定着させるべく努力をしていきたい。

#### (6) 栄養情報コミュニケーション事業（広報部）

##### ・ホームページ事業

健康づくりや食育など県民を対象とした地域イベントの案内や栄養士による季節に応じた献立・県産農産物を使った料理レシピを掲載した。また、「栄養ふくおか」と連動し、地域における栄養ケア活動への積極的な参加を呼び掛けた。

平成27年度：ページビュー数（PV）176,387、訪問数59,387（平成28年3月14日現在）

前年度に比べ、ページビュー数（PV）1.6%増、訪問数22.8%増と双方ともに増加し、より多くの方に情報提供できたと考える。

### 4. 県民の健康を育む食環境の整備

県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人・物・仕組み）を有機的に結び付けその機能を改善・活性化させることにより、望まし食環境の整備を図る事業である。各行政機関における各種委員会や協議会等には積極的に参画し委員会を通じた連携・協働関係の構築に協力し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与した。

今年度の参画した主な委員会・協議会数は18会議である。

### 5. 法人運営・管理

重要な意思決定会議および主要な法人事業の運営に関しては、総会を平成27年5月30日、平成27年度福岡県栄養士大会・第41回福岡県栄養改善学会を平成27年10月25日に開催した。重要な意思決定会議（理事会）を年6回開催した。